



# 杉谷ひろば

杉谷さんとともにまちを創る会  
2022年 6月 1日発行

**6月号** 向日市上植野町西小路3-4  
**No. 135** 杉谷ひろば(連絡先は頁下)

市民参加でまちを変えよう！ ホームページ：<http://sugi.pupu.jp/>

向日市議会 6月定例会開会中

2-3面参照

## 市民にわかりやすい情報を!



**向日市議会議員 杉谷伸夫** 所属政党なし  
上植野町イトーピア在住。大阪市生まれ。京都大学工学部卒業。GSユアサ(旧日本電池)勤務を経て、2011年より向日市議会議員3期目。67才

5月26日に開会した向日市議会の定例会で、私は向日市がもっと市民にわかりやすい、積極的な情報提供をおこなうよう求めてゆくつもりです。(詳細は2-3面)

一般質問では、以下の3つの課題を取り上げます。

- ①向日市の水道の水源を、地下水を無くし府営水道に一本化する案が京都府で検討されているが、大きな問題であり、今後議会に随時報告すること。
- ②就学援助制度の利用条件をもっとわかりやすく公表し、自分も対象となることを知らずに利用申請できない市民を無くすこと。
- ③4月から休館した「ゆめパレアむこう」の市民プールは、

市民合意を得て維持できるよう努力すること。

新型コロナウイルスに対する生活支援や市民会館の開館準備、その他議案が審議されます。皆さんのご意見をお聞かせ下さい。(5月31日 杉谷伸夫)

### 6月5日は「環境の日」

ご存じでしたか? 環境基本法の第10条は、

「事業者及び国民の間に広く環境の保全についての関心と理解を深めるとともに…、環境の日を設ける。

2 環境の日は、6月5日とする。

3 国及び地方公共団体は、環境の日の趣旨にふさわしい事業を実施するように努めなければならない。」

1972年6月5日から開催された「国連人間環境会議」を記念し日本とセネガルの共同提案により国連総会で「世界環境デー」が制定されたのが起源です。

6月は環境月間です。向日市も「ゼロカーボン」をめざす取り組みを呼びかけています。でも「環境の日」は冷遇されています。我が家のどのカレンダーにも載っていません。もっと重要な日に格上げを!

### 向日市議会6月定例会の主な日程

6/7-9 本会議・一般質問

★6/8は、杉谷伸夫の一般質問予定

13 厚生常任委 14 建設環境常任委

15 総務文教常任委員会(杉谷議員が所属)

21 (火) 最終本会議・採決

### 6月の催し等のご案内

■ 6月11日(土)10時・寺戸公民館2階 実習室  
市民参加でまちをつくる会

※Zoomでネット参加もできます(ご連絡を)

ホームページはここから ⇒

### 連絡先

ご相談はまずお電話を! TEL 090-8384-5984(携帯) FAX 075-921-4101  
メール [peace@fa2.so-net.ne.jp](mailto:peace@fa2.so-net.ne.jp) ホームページ <http://sugi.pupu.jp/>



# 杉谷伸夫の

★予定：6月8日（水）

（Youtubeで生放映／録画視聴可能）。



視聴の案内



質問の全文



質問の要旨

## 一般質問

### 市の水道 地下水0%、府営水100%案も？

数十年後には人口が急減し、水の需要も大幅に減ります。一方、浄水場などの設備は老朽化が進んでおり、大規模な更新が迫られます。さて、どうするか？

2つの道があります。1つは地下水（自己水）を優先し、京都府から買う水（府営水）を縮小・廃止する道。もう1つは府営水を優先し、地下水を縮小・廃止する道です。みなさんはどう思いますか？

京都府は、今後の対応策を検討しており、今年度中に「京都府営水道ビジョン」をまとめる予定ですが、その第2次案で2つの案を示しました。その1つは、乙訓2市1町の浄水場をすべて順次廃止する（つまり地下水＝自己水をやめる）という案です。水道水の全量を京都府から購入することになります。



くみ上げ地下水を浄化する物集女西浄水場

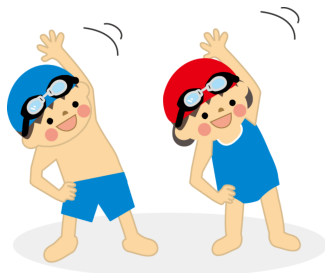
向日市の水道水は、現在は地下水と府営水のブレンド水です。しかしもともと、向日市を含む乙訓地域

は地下水の豊富な地域で、20年前までは水道の水源は100%地下水でした。その地下水を放棄して、全量を京都府からの購入に頼るということは、絶対あってはならないと思います。

向日市民の命の水源を今後どうするか？が問われています。この問題について、市長の考えを聞きます。また京都府の検討状況を、今後議会に報告するよう求めます。

### ゆめパレア 市民プール維持へ努力を

「市民プールはどうなるのか？」多くの市民が注目しています。向日市は、この秋に検討結果を示す予定ですが、市民の信頼が得られるためには、ぜひ議論の過程を公開し、透明性のある検討の進め方をする必要があります。どんなメンバーが、どういう場でどのように検討し、報告はどのようにするのか、進め方についてオープンにして頂きたい。



その結果として私は、市民の合意を得てプー

ルを維持（再開）できることを願っています。市民プールには、単に健康づくりの施設としてだけでなく、市民のふれあい・つながりを作ってきたという公共施設ならではの役割があるからです。

6月に一般市民を対象としたアンケートが予定されています。アンケートでは、財政面の詳しい情報の他、市民プールの役割・目的（市民の健康づくり・市民のふれあいを高める）などの情報が市民に提供され、市民のための市民プールとして再開していけるよう、一緒に考えてゆきたいと思います。

## 就学援助 利用基準をわかりやすく!

就学援助制度は、経済的に豊かでない世帯に、入学準備費用や学用品費や給食費などを援助する制度で、生活困窮世帯だけでなく、かなり幅広い世帯が利用できます。市町村によっては3割以上の世帯が利用しています。

しかし、向日市では1割台の世帯しか利用していません。利用できるのに申請していない方が多いのではないかと思います。向日市の「就学援助制度のお知らせ」には、条件に「経済的な理由で就学が困難」と書いてあるので、相当低所得の人しか利用できない印象を受けますが、決してそんなことはありません。もっと多くの世帯が利用できるはずです。

実は向日市では、「生活保護基準の1.3倍の所得以下」が条件なのですが、案内文に書かれていない上に、これではピンときません。そこで他の市町村では、「利用できる所得額」を

ハッキリ書いていたり、父・母・中学生・小学生の4人世帯の場合のモデル事例を書いたりして、「自分は援助を利用できるかどうかの目安」がわかるように、いろいろ工夫しています。

向日市でも、「こんなご家庭なら就学援助を利用できますよ」という具体的でわかりやすい事例を示すよう求めます。またそれを「就学援助制度のお知らせ」に記載することを求めます。結果は次号で報告します。

「知らなかったので申請できなかった」という方が無いようにしたいものです。



学用品費や給食費などを援助

## 体験記 副作用被害救済を申請!

先月号で、発熱したけど、コロナではなく全く別の薬による「薬害性肝障害」で入院し、回復した経過を書きました。今月はその続きです。

医薬品  
副作用被害  
救済制度

私の記事を見た知人から、「医薬品副作用被害救済制度を知ってるか?」と電話がありました。正しく薬を服用していても、まれに重篤な副作用が出ることもあるので、申請によって医療費等の救済を受けることができます。さっそくネットで調べて「医薬品医療機器総合機構」に電話で問い合わせました。状況を伝えると「救済の対象になるでしょう」とのこと。さっそく申請用の資料を送ってもらい、医師に診断書等を書いてもらって、先日申請しました。

救済の対象は、適正に医薬品を使用したにもかかわらず、入院治療を必要とする程度の医療や、日常生活が著しく制限される程度の障害への年金などで、私の場合は、医療費自己負担分の全額と、

数万円の医療手当が給付される見込みです。財源は、医薬品の製造販売業者による拠出金です。

しかし気になったのは、

①この制度を医師は教えてくれなかった。知人が教えてくれなかったら、利用できなかった。

しかし医薬品の箱の裏面をよく見ると、何と「副作用被害救済制度の問い合わせ先」(末尾参照)が書いてありました。知りませんでした。

②申請後、国の審査に8~10ヶ月かかると言われました(何でそんなにかかるねん!)。病気になったその時の救済にはなりません。

被害発生から5年以内であれば請求できます。自分もこの制度の対象になるかも、と心当たりのある方はネットで調べて、直接問い合わせてください。ていねいに教えてくれましたよ。診断書等が必要ですが、手続きは簡単です。私もまだ給付されたわけではありませんが、大切な情報だと思いますので、お知らせします。

副作用被害救済制度の問い合わせ先 電話0120-149-931

# 戦争は大嫌い

安野 洋子

憲法記念日の5月3日、「憲法を勝手に変えさせない会」が3年ぶりに再開した。主催者の山本憲治さんの話は、やはり歯切れが良かった。1970年前後の学生運動やベ平連（ベトナムに平和を！市民連合／1965年～74年）で活動していた人だから、実践が板に付いている。とても力強いものを感じた。5月8日は、豊中のロシア領事館へ抗議に行くと言う。ロシア人は必ず顔を見せるそうだ。私は、その日は読者会が重なるので残念ながら行けなかったが、同行したかった。5月9日、ロシアの「対ナチス・ドイツ戦勝記念日」。プーチンはウクライナへの戦争に勝利宣言をする予定であったろう。しかしそれは実現せず、プーチンには焦りがあるだろう。ドイツのメルケル首相が政治から降りたとたん、ウクライナ攻撃が始まった。彼女がプーチンのクッション役をしていたと言うから

残念だ。

「非暴力抵抗こそ民を守る」は、映画監督の想田和弘さんの言葉だが、アイルランド出身の欧州議会の女性議員であるデイリーさんも同じことを発言している。EU、NATO、アメリカも、ロシアと戦うウクライナの人々を、戦争の軍需産業の道具として利用しているだけではないか。大切なのは武力行使をやめさせ、話し合いでの解決によって平和を構築することであると。ウクライナへの軍事援助はNATOは3倍に拡張し、アメリカのウクライナへの軍事援助は8倍になっている。この戦争で誰が儲けているか考えるべきであると。

世界で突出した軍事力を持っているアメリカは、軍事衛星を飛ばし、ロシアの動きを手取るように察している。アメリカに軍事費が続くのは中国。日本も軍事費をGDPの2%にしたら、世界第3位になるという。恐ろしいことだ。軍隊を廃止したコスタリカは、永世積極的非武装中立を宣言している。それにコスタリカが属する中南米33カ国は、トラレロルコ条約を作り、非核地帯を成立させた。これらに日本は見習うべきだ。「憲法九条」を活かすことにこそ、日本の姿があると思う。憲法改悪して戦争できる国にするのには、絶対反対である。（5月20日）

## 「沖縄・辺野古は今」写真展

沖縄の本土復帰50年の日を前に5月12～14日、向日町会館で写真・映像展を開催し、百人余りの方々に来場頂きました。辺野古の現状と基地建設やめよと抗議する人々の姿の他、台湾近くに至る沖縄の島々に自衛隊のミサイル基地が配備され「軍事要塞化」されつつある現実を伝える展示に、「知らなかった。ほとんど報道されてないですね。」の声が多く聞かれました。（報告ニュース参照）



## 老朽原発このまま廃炉！

5月29日、老朽原発の廃炉を求める全国集会在、大阪で開かれ、各地から千人以上が参加しました。「違法な40年超え運転を止めよ」との運転差し止め訴訟や、福島原発事故による子ども甲状腺がん訴訟など、全国各地の報告の後、人々で賑やかな難波までデモでアピールしました。最近、原発回帰の動きが目立ちますが、二度と過ちを繰り返してはならないと改めて思いました。（杉谷）

